

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月30日更新

事務事業名	健康づくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
体系	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	宮崎 奈々子
	施策の柱	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	2130
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	健康増進法	成果優先度評価結果	⑤
	一般	4	1	4	11575			コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	生活習慣の多様化により、生活習慣病(肥満症・高血圧症・糖尿病・脂質異常症等)の有病率が増加している。これらが重複した状態となり、重症化して脳血管疾患、虚血性心疾患、腎不全の原因となっている。そしてこのことが医療や介護に係る予算の高騰につながっている。この現状を改善するため、疾病の発症予防と重症化予防という視点から ①生活習慣病対策の教室実施 ②地域の身近な場所で継続して健康づくりを実践できるように拠点地区での教室実施 ③行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの育成 ④職員が地域に向いて健康教育を行なう出前講座 ⑤市民が集まる場で糖尿病の早期発見と未受診者対策として出前セルフ血糖チェック事業 ⑥健康づくりの必要性について考える機会として健康づくり講演会の実施 ⑦ICTを利用した働く世代の健康づくりの一環としてウエストサイズ大作戦Web版等を主な事業として行なっている。H27年度より、事務事業名を健康づくり事業に変更した。
【業務の流れ】	1. こうし健康塾(生活習慣病対策のための教室) ①現状把握・分析 ②教室内容の企画 ③委託先との契約 ④委託業者との打ち合わせ ⑤参加者の募集 ⑥実施 ⑦評価 2. 健康づくり拠点地区事業 ①委託先の選定・契約 ②拠点地区の選定 ③委託業者との打ち合わせ ④参加者の募集 ⑤実施 ⑥評価 ⑦教室サポーターの養成 ⑧自主活動フォローアップの実施 3. 健康づくり推進員学習会 ①企画 ②推進員への通知 ③準備 ④実施 ⑤他の事業との連携・調整 4. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 5. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価 6. 出前セルフ血糖チェック事業 ①教室内容の企画 ②委託先との契約 ③委託業者との打ち合わせ ④参加者の募集 ⑤実施 ⑥評価 7. ウエストサイズ大作戦Web版 ①委託先の選定・契約 ②委託業者及び参加企業との打ち合わせ ③参加者の募集 ④実施 ⑤評価
【主な予算費目】	8. 報償費 13. 委託料
【意見や要望】	・議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。 ・市民からは、健康づくりに関する事業が増えて参加しやすくなった、定期的に教室を行ない健康づくりを継続できる環境をつくってほしい、教室に参加することで健康づくりに取り組むきっかけをつかめた、血液データが改善したとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行なった主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・健診結果などで数値の改善が必要であった市民に対して個別別室を3クール実施。(対象者は、LDL120mg/dl以上、HbA1c5.6%以上の人) 延21回、延人員1218人 ・こうし健康ステーション(泉ヶ丘、すずかけ台、須原、野々島)として活動。延146回開催、延人員3,331人 ・健康ステーションサポーター研修会を実施。5回開催、延人員115人 ・健康づくり推進員の学習会を定期的に開催した。延10回開催、延人員149人 ・依頼を受けて、健康教育出前講座を実施した。延15回開催、延人員413人 ・健康づくり講演会を開催した。延1回開催、延人員10名 ・ウエストサイズ大作戦Web版を実施した。参加者約5名 ・出前セルフ血糖チェック事業を実施した。(6回開催、延241人)	事業の継続 ・健康ステーションサポーターのフォローアップ研修を実施し、各ステーションの活性化、フォローを行う。 ・こうし健康塾のプログラムの再検討をする。 ・特定健診結果から、要治療域であるが、治療していない人を対象に結果を手渡しし、直接説明を行う。 ・健康づくり推進員の活動の活性化するため、ボランティア内容など検討する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 教室の実施回数	健康づくり地区支援事業の内容見直し(セルフ健康チェック事業回数 10回⇒5回の減)による委託料の減。
→ イ: 参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) ア: 市民の数(人口) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市民が健康づくりに関心を持つ。自分の健康を保持増進できるよう行動できる。	(単位) ア: 栄養のバランスを考えて食事を摂っている市民 % → イ: 病気の予防のため運動をしている市民 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2期基本計画に基づき設定している。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア 回	98	66	120	197	120	120	120	120	
	イ 人	3,188	4,680	1,000	4,692	3,000	3,000	3,000	3,000	
② 対象指標	ア 人	58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000	
	イ %	89.1	25.3	50	25.5	30	30	30	30	
	イ %	51.4	42.3	47	43.7	45	45	45	45	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	6,018	4,817	4,820	3,904	4,298	4,363	4,363
		(A) 事業費計	千円	6,018	4,817	4,820	3,904	4,298	4,363	4,363
		(A)のうち指定経費	千円	216	152	10	0	10	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	216	143	0	0	0	0	0
		人件費	人	4	6	3	6	3	3	3
延べ業務時間	正規職員従事人数	人	4	6	3	6	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	2,407	2,600	2,000	2,020	2,000	2,000	2,000	
	(B) 人件費計	千円	9,589	10,358	7,968	7,500	7,968	7,968	7,968	
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,607	15,175	12,788	11,404	12,266	12,331	12,331	12,331	

事務事業名	健康づくり事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 本年度から新たな試みとして、出前セルフ血糖チェック事業を実施して、健康づくりに関心の低い人への意識づけを行なった。また、講演会を2回開催し、参加者が増加した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・健康ステーションの維持、活性化に向けて、検討していく。 ・こうし健康塾、ターゲット・内容を検討し、開催する。 ・データヘルス計画、健康増進計画も併せて進めていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 教室の対象者の選定を随時行い、生活改善が必要な市民に対して呼びかける。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 こうし健康ステーションなど内容次第では、高齢者支援課との連携の可能性も考えられる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 こうし健康ステーションなど市が行っていた役割をステーションサポーターに一部担っていただくなど役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

これまで教室に参加したことない人も多く、健康を考える機会や行動の変容につながることもできた。血糖値やLDLコレステロール値など血液検査の結果が改善した人もいた。
 また、市民同士の口コミで、参加者の増加、教室への関心は高まっている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 本事業は、市民の健康づくり及び疾病予防において必要な事業である。今後も市の健康実態に合わせて、事業の対象者選定や実施方法の見直しなどを行いながら実施する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 教室や講演会の参加者が固定化されないよう、事業の目的にあった対象者への周知方法を検討し、関係機関と連携しながら取り組む必要がある。																						